

子どもの貧困 を科学する



福岡未来創造プラットフォームは、福岡都市圏の大学、産業界、福岡市による共働事業です。単体ではできない仕組みや企画を立ち上げます。今回の連続講座は、5大学の研究者と10団体の社会活動家が登壇します。子どもの貧困に関する学習を通じて、新たな知見の獲得とネットワークの深化をめざします。

参加費無料

定員50名（応募者多数の場合は抽選）

原則全5回参加できることが応募条件となります。

各回の進め方

実践紹介

講義

対話

* 実践紹介に登場する団体は裏面を参照。

実施回	内容	講師
第1回 10月17日(木)	ガイダンス 福岡市の子どもの貧困対策	添田祥史(福岡大学) 高島美之(福岡市子ども未来局)
第2回 10月24日(木)	子どもの貧困に関する基礎概念	大西良(筑紫女学園大学)
第3回 10月31日(木)	心と身体からみる子どもの貧困	永井淳(福岡歯科大学) 高橋清美(日本赤十字九州国際看護大学)
第4回 11月7日(木)	アートによる生活困窮支援	古賀弥生(九州産業大学)
第5回 11月14日(木)	であいの広場—実践紹介に 登場した市民活動との対話	三宅玲子(子どもNPOセンター福岡) 添田祥史(福岡大学)

対象 ①子ども関連の活動に取り組んでいる実践者で知見を深めたい方。
②新たな活躍の場を探している方。

会場 福岡市中央市民センター第一会議室 19:00～21:00（各回共通）

申込・問い合わせ 西南学院大学社会連携課 fukuoka.kodomo2019@gmail.com

主催 福岡未来創造プラットフォーム 共催 福岡市

本講座のねらいと特徴

子どもの貧困は、不利の連鎖が複合的に蓄積されます。だからこそ、その解決にむけた社会資源も複合的に投入される必要があります。この連続講座では、最新の研究動向に関する知見と福岡市内の子どもに関する市民活動について学べます。関係者同士が出会い知見と交流を深めることで、解決にむけた新たな取り組みが生まれるネットワークづくりをめざします。

各回の進め方

実践紹介

講義

対話

* 講義内容については表面を参照。

回	団体名	活動概要
第1回 10/17 (木)	野芥校区社会福祉協議会 「つくって食べよう土曜昼！」	校区社協、自治協等各種地域団体と福岡西部5大学とが協働して、調理・会食・学習支援を行っている。
	まちづくりLAB	様々な事情を抱える子どもに対して訪問型の個別支援などを行っている。
第2回 10/24 (木)	筑紫女学園大学ママカフェ	大学の資源を活用して、10代の若い母親を対象とした居場所と仲間づくりを展開。
	SFD21JAPAN	元非行少年の支援活動を行っている。居場所支援や腕相撲イベントなどを展開。
第3回 10/31 (木)	ふくおか 子ども応援プロジェクト	他業種連携によって精神疾患のある親元で育つ子どもの支援を行っている。
	いるかねっと	公営団地の集会場などを拠点にした無料学習会などを展開。
第4回 11/7 (木)	エデュケーションエーキューブ	経済格差が教育格差に繋がらない社会を目指してeラーニングによる支援を実施。
	箱崎自由学舎えすぺらんさ	不登校の中高校生や高校中退者を対象にした支援活動を展開。
第5回 11/14 (木)	ふくおかこども食堂実行員会	こども食堂を運営している人たちが交流をし、活動の輪を広げるための連絡会。
	子どもNPOセンター福岡	子どもの権利条約の自治体レベルでの実現をめざし、子どもにやさしいまちづくりを進めていくための中間支援活動(つなぎ支援)を展開。